

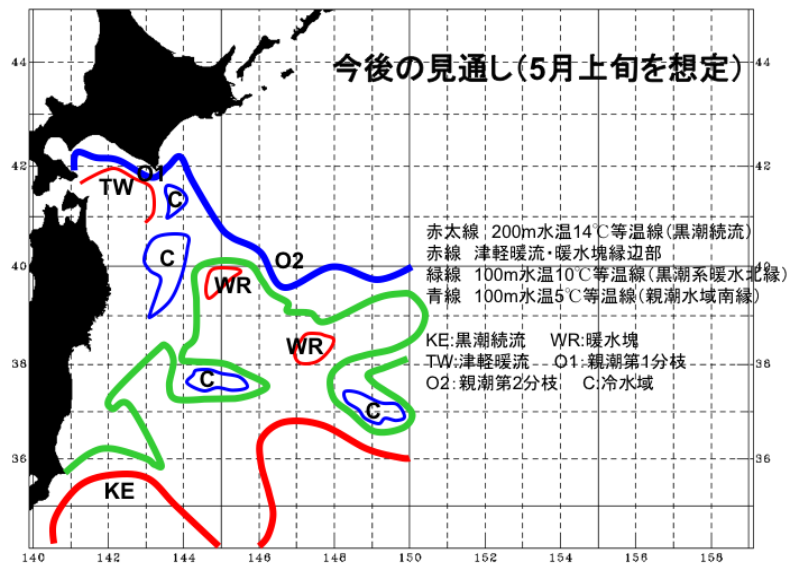


平成28年度 第1回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
東北区水産研究所、北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成28年4月下旬~5月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。
- ・ 釧路沖の暖水塊は停滞し、三陸はるか沖の暖水塊は西進する。
- ・ 三陸近海に冷水域が形成される。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産研究・教育機構東北区水産研究所 業務推進部

担当: 藤井、山田

電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250

国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所 業務推進部

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

<http://www.fra.affrc.go.jp/>

平成28年度東北海区海況予報 第1号

《今後の見通し（2016年4月下旬～5月）》

近海の黒潮統流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。釧路沖の暖水塊は停滞し、三陸はるか沖の暖水塊は西進する。三陸近海に親潮第1分枝に連なる冷水域が形成される。

《海況の経過（2016年2月～2016年3月）の特徴》

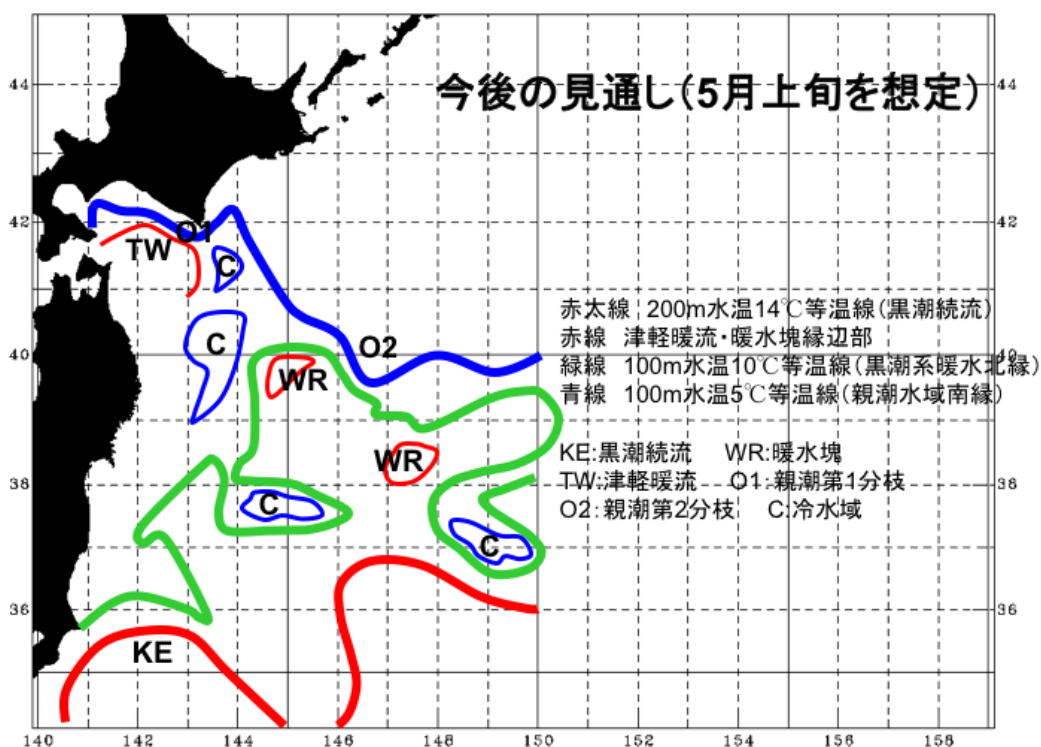
近海の黒潮統流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。釧路沖と三陸はるか沖の暖水塊は停滞した。

《現況（2016年4月上旬）の特徴》

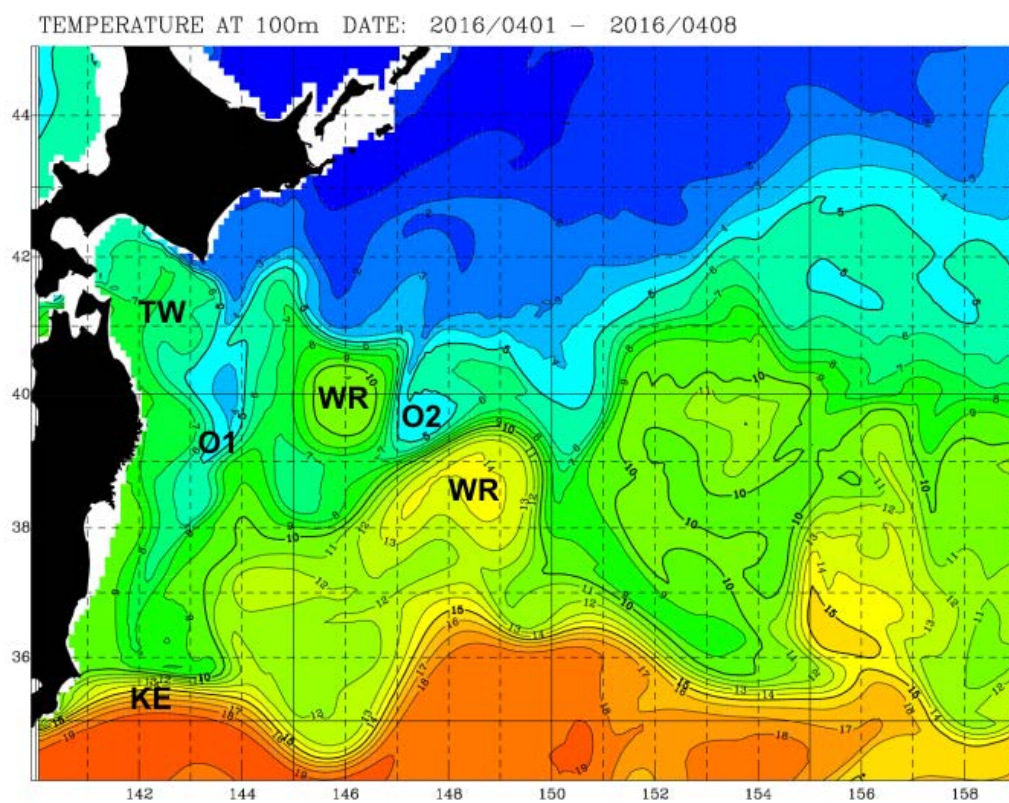
近海の黒潮統流の北限位置はやや南偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。釧路沖と三陸はるか沖に暖水塊がある。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

5月上旬予測水温分布図



4月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p>
---	--